

ナンバリング		授業科目名(科目の英文名)						区分・【新主題】 / (分野)		授業形式					
E142J022		日本東洋美術史 (Japanese and Asian Art History)								対面					
必修選択		単位	対象年次	学部	学期	曜・限	主に使用する言語	その他に使用する言語		担当形態					
選択		2	3	教育学部	前期		日本語			単独					
担当教員	氏名 篠崎 悠 子														
	E-mail 内線														
授業の概要	日本美術（絵画・仏像を中心に）の歴史を、東洋とりわけ日本美術に大きな影響を与えてきた中国美術との関連を踏まえて概観する。また、大分県の芸術や文化財について、修復事例なども併せて知見を得ることで地域の芸術や文化への理解を深める。														
具体的な到達目標								DP等の対応(別表参照)	1	2	3	4	5	6	7
目標1	中国を中心にした東洋美術の歴史的な概観について説明できる。								○						
目標2	日本美術の歴史的特徴を代表的な例を挙げて説明できる。								○	○					
目標3	水墨画や伝統的な日本絵画の顔料や技法を習得することができる。								○						
目標4	大分の芸術や文化財について、その保存と継承の意義について伝えることができる。								○				○		
目標5															
目標6															
目標7															
目標8															
目標9															
目標10															
各DPへの関連度 (計10)									8	1			1		
授業の内容															
1	東洋美術（主に中国と日本）の歴史的概観														
2	中国および日本古代の絵画と仏像														
3	山水画（水墨画の遠近法）														
4	水墨画（四君子の蘭）														
5	水墨画（四君子の竹）														
6	彩墨画														
7	伝統的な日本画の顔料と日本の色名														
8	絵巻 似せ絵・慶派														
9	雪舟・等伯・金碧画														
10	土佐派・狩野派・琳派など														
11	浮世絵														
12	明治期の西洋画の流入・豊後南画														
13	現代（大分の作家）														
14	大分の文化財 白杵石仏など														
15	大分の文化財 修復事例など														
ラーニング	A:知識の定着・確認	○	小テスト					工夫その他の	プロジェクターを使用して、画像情報を使う。						
イ	B:意見の表現・交換	○	グループでのディスカッション												
ニ	C:応用志向														
ング	D:知識の活用・創造														
授業時間外学修の内容と想定時間	準備学修	配布資料、参考図版などをもとに、必要に応じて予習する。（20 h）													
	事後学修	授業後に関連事項について、各自で調べて、時代や美術的な特質について考察する。（25 h）													
	想定時間合計	45													
教科書	教科書は指定しない。 授業の際に、必要に応じて資料を配布する。														
参考書	参考書は指定しない。														

成績評価の方法及び評価割合	評価方法		割合	目標1	目標2	目標3	目標4	目標5	目標6	目標7	目標8	目標9	目標10
	口頭発表・小テスト・小レポートなど		30%	○	○								
	実習・作品提出		20%			○							
	期末試験、又は、レポート提出		50%	○	○		○						
注意事項													
備考													
リンク													
	URL												
担当教員の 実務経験の有無	○												
教員の 実務経験	日本画制作・彫刻の彩色アシスタント・仏像彩色など												
実務経験を いかした教育内容	日本画制作や彫刻・仏像彩色の経験から、日本の伝統的な彩色技法をふまえた絵画や仏像の見方を解説する。												